

ゼネラル エレクトリック(GE)

【セクター】 資本財・サービス

【市場】 NYSE

【企業概要】

米国の産業機器の最大手で、航空機エンジンをはじめ、発電機、医療画像診断機器、油田装置、鉄道車両、水処理設備、一般工業製品などの幅広い製品とサービスを提供します。かつては金融、メディアなどを含むグローバルでしたが徐々に事業売却を進め、産業機器分野に集中しています。業績不振による株式時価総額の減少を受けて18年6月にNYダウ指数の構成銘柄から外れました。

【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
16年12月期	119,687	10,032	1.10	0.93	8.7	11.5	22.0
17年12月期	120,468	10,256	1.18	0.84	7.4	14.6	22.6
18年12月期予想	120,209	6,826	0.73	0.44	3.9	6.9	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

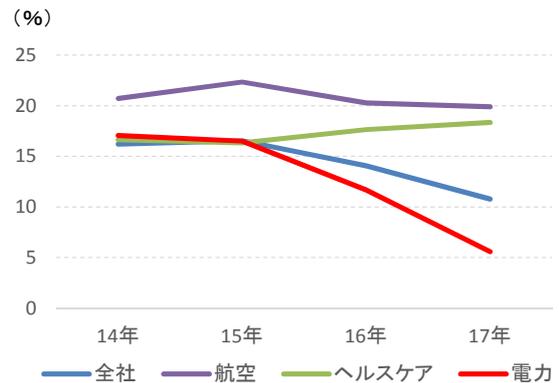
【主要指標】

図表1 今後の主力部門（オレンジ）と
切り離し候補部門（青）

部門名	売上高 17年12月期	営業利益 17年12月期
航空	270	54
電力	349	20
再生エネルギー	92	6
ヘルスケア	190	35
運輸	39	6
オイル&ガス	172	2
照明	19	0

(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 全社と主要部門の営業利益率推移



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

「プレミア・ハイク・産業企業」になることを目指して、事業のリストラを進めています。図表1の通り、「航空」「電力」「再生エネルギー」を将来の主力部門と定め、それ以外の部門については、別企業として分離または売却によって切り離すことを検討しています。ただ、この計画を策定したCEOのフラナリー氏が辞任することとなりました。交代するカルプ氏は資本財大手のダナハーでCEOを務めた方で、このリストラ計画が見直される可能性もあります。

【見通し・注目点】

7-9月期決算は航空部門とヘルスケア部門が好調なものの、電力部門の不振がこれを相殺して低調な業績が続きました。電力部門の売上が前年同期比33%減、同部門機器の受注が同18%減と底入れが見えていません。会社は同部門をガスタービン発電とそれ以外の発電の2部門に分割することで問題部分のあぶり出しとコスト削減を急ぐリストラ計画を発表しています。四半期配当を1株当たり0.01ドルに引き下げ、キャッシュを社内に留保してリストラに備えます。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 18/11/7)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。